

農山漁村地域整備計画 事後評価調書

整備計画名	とくしま農業農村整備計画（第2期）				
整備計画年度	平成27年度～令和元年度（5年間）	交付対象	徳島県		
1. 交付対象事業の進捗状況【実施要領 ^{注1} 第5の2の（1）】					
・5年間で計62地区を本計画に位置付け、概ね計画どおり事業進捗が図られている。					
2. 事業効果の発現状況【実施要領第5の2の（2）】					
(1) 農地整備 新鮮で高品質な「とくしまブランド農作物」を効率的かつ安定的に生産するため、農地、農道、農業用排水施設等の農業生産基盤の整備について13地区で事業に取り組んだ。 特に、農地整備事業のうち、事業完了した段閑地区（鳴門市）では、排水施設整備を行い、営農時間短縮並びに維持管理労力の軽減が図られるとともに、農道整備を行い、通作交通の利便性向上並びに走行時間の短縮が図られ、効率的かつ安定的な営農が可能となるとともに、担い手への農地利用集積が図られた。また、橋梁やトンネルといった既存農道施設の長寿命化を図るため、阿南地区（阿南市）他6地区で機能診断を実施し、農道保全対策計画を策定した。					
(2) 水利施設整備 将来にわたり良質な農産物を安定的に生産するため、老朽化した農業用排水施設の予防保全対策や更新整備に12地区で事業に取り組むとともに、農業経営の安定化及び農山村地域の活性化を図るため、農業用水を有効活用した小水力発電施設整備に1地区で取り組んだ。 特に、水利施設整備事業のうち、三好南岸地区（東みよし町）では、用水路の機能保全対策を行い、既存施設の長寿命化が図られた。また、小水力発電施設の整備が完了した新府能地区（佐那河内村）では、順調に発電施設が稼働し、農業用施設の維持管理費削減に伴う農業経営の安定化及び農山村地域の活性化が図られた。					
(3) 農村整備 豊かな自然環境や美しい景観、地域資源を活用した魅力ある農村づくりを進めるため、農村環境の改善と中山間地域の総合整備について25地区で事業に取り組むとともに、農産物物流の効率化を図るため、農村域内の農道整備に9地区で事業に取り組んだ。 特に、農村整備事業のうち、脇中央地区（美馬市）では、農道等の農業生産基盤の整備、営農飲雑用水施設整備等の生活環境基盤の整備が一体的に行われ、中山間農業地域の活性化や農業振興が図られた。また、伊沢中央地区（阿波市）では、農道整備を行い、通作や農産物運搬の効率化が図られた。					
(4) 海岸保全施設整備（農地） 沿岸部の優良農地と農業生産活動を守り、食料の安定供給の確保と安全安心な農村地域の形成を進めるため、津波・高潮対策及び既設海岸保全施設の長寿命化計画策定に2地区で事業に取り組んだ。 特に、徳島地区（鳴門市、阿南市、海陽町）では、既存海岸保全施設の長寿命化を図るため、7施設の長寿命化計画を策定した。					
3. 成果目標の目標値の実現状況【実施要領第5の2の（3）】					
【定量的指標】					
(1) 農地整備	目標値	実績値	単位	達成評価	備考
1 担い手への農地集積率の増	22	29	%	達成。	
2 農産物物流の効率化に向けて、通作条件を改善	11	11	地区	達成。	
3 農道及び橋梁等の機能点検、機能診断実施	7	7	地区	達成。	
(2) 水利施設整備	目標値	実績値	単位	達成評価	備考
1 農業水利施設の機能診断に基づく機能保全対策を通じ、既存施設の有効活用や長寿命化を促進	7	7	地区	達成。	
2 農業水利施設の整備により、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る	4	4	地区	達成。	
3 農地排水施設の整備により、農地の湛水被害の軽減を図る	42	42	ha	達成。	
4 農業水利施設の包蔵水力を活用した小水力発電施設を整備し、維持管理費の削減を図る	1	1	地区	達成。	
(3) 農村整備	目標値	実績値	単位	達成評価	備考
1 総合的な農村地域の整備により、営農の利便性を図る	325	108	ha	次年度以降、事業完了に伴い、達成できる見込み。	3期計画及び補助事業に移行して継続中。
2 総合的な農村地域の整備により、生活環境の改善を図る	45	27	集落	次年度以降、事業完了に伴い、達成できる見込み。	3期計画及び補助事業に移行して継続中。
3 実施計画策定事業の調査結果を活用した事業計画の策定	2	2	地区	達成。	
4 農業集落排水施設の機能適正化・強化等により、生活環境の維持・保全を図る	9,985	8,075	人	概ね達成。	他交付金事業を活用し、達成。
5 農業集落排水施設の機能診断実施及び最適整備構想の策定	10	10	施設	達成。	
6 農産物物流の効率化に向けて、通作条件を改善	9	9	地区	達成。	
(4) 海岸保全施設整備（農地）	目標値	実績値	単位	達成評価	備考
1 背後集落や農地における高潮等による浸水被害の防止	1,777	0	ha	次年度以降、事業完了に伴い、達成できる見込み。	3期計画で継続中。
2 海岸保全施設に係る長寿命化計画の策定	7	7	施設	達成。	
4. 今後の方針【実施要領第5の2の（4）】					
・本計画において、進捗が遅れている中山間地域の総合整備事業及び海岸保全施設整備事業については、早期に関係機関との調整の目途を立て、本交付金の3期計画（令和2年度～令和6年度）及び補助事業への移行後において、予算の重点配分を行い、事業効果の早期発現に努める。 ・今後とも農業生産基盤の整備を推進し、優良農地の保全及び生産条件の改善に努め、農業経営の安定化を図るとともに、中山間地域では、農村生活環境基盤の整備を一体的に推進することにより、農山漁村地域の活性化と定住条件の改善を図る。					

(注1) 実施要領とは、「農山漁村地域整備交付金実施要領」のことを指す。